

テーマ: 自然

目白第二保育園(豊島区)

テーマを設定する

身近な自然に興味を持っていてむしむしランドなどで各クラスが虫探しをしている。また、緑も多い。さらに、自然の変化・発見などの探求心を深める機会にする。

活動① アーティストワークショップ1

わらのおうちづくりワークショップ①

環境をデザインする

●準備した物 稲わら、モール、リボン、水性マーカー、色紙ほか

探究活動を実践する

●活動内容

①アーティストの自己紹介のあと、自然素材「わら」を紹介し、ワークショップの直前に取り組んだ劇のつづきとして「わらのおうち」をつくと説明

②はだしになって、大量の稲わらを踏んだり、ゴロゴロしたり全身で遊ぶ。

③わら束の作り方と、アーティストの作った家型の木製フレーム(厚手両面テープが貼ってある)への取り付け方を説明。

④3グループにわかれて、グループで1つ、全部で3つのおうちづくりがスタート/わら束を木製フレームに貼り付けて壁をつくる。/セロテープや、カラフルなモール、リボン、毛糸などで束ねる。/マジックで屋根に絵を描いたり、紙やカラーフィルム、どんぐりなどを飾る/おうちの中にわらを敷き詰める。など。

●子供たちの様子

・テープやモールでわらをまく作業。難しいながらもコツコツ続けていくとバラバラだったわらが壁になっていき、達成感を感じていた

・「くもの巣つくるの」毛糸から生まれたアイデア。巻き付けたり、這わせたり、手を動かしながら試行錯誤する姿があった。

・友達と協力してなんどもわらを運び、おうちに敷き詰めて共に遊ぶ姿があった。

活動スケジュール(4歳児クラス)

活動内容	実施日	時間/回	人数/回
① アーティストワークショップ1 講師:水内貴英(美術家)	R6.11.20 (水)	60分程度	14人
② アーティストワークショップ2 講師:水内貴英(美術家)	R6.11.21 (木)	60分程度	16人
③ 藁の家を使ってお店屋さん担任	R6.11.20~ R7.2.19	45分程度 18回	16人



振り返りをふまえた気づき

●保育士から

- ・集団での活動には消極的になりがちな子どもも参加できていた。
- ・セロテープの扱いがまだ難しい様子もあったが、試行錯誤しながらも、扱いづらい「わら」という素材に、真剣にぶつかっていく様子が見られた。
- ・さまざまな素材があったことで、わらだけでなく、ペンで絵を描く、毛糸やリボンでクモの巣をつくる、どんぐりをおうちにつけて装飾するなど、いろいろな興味が生まれ、多様な取り組みが見られた。
- ・普段からお絵かきが好きなお子が多いクラスであり、大きな屋根に絵を描きはじめるなど、普段の興味関心がさらにひろがった

活動② アーティストワークショップ②

わらのおうちづくりワークショップ②

環境をデザインする

●準備した物 稲わら、モール、リボン、水性マーカー、色紙ほか

探究活動を実践する

●活動内容

- ①わら束の作り方や、家形の木製フレームへの貼り付け方などをアーティストが説明
 - ②シートに包んであったわらを出すと、一斉に飛んだり跳ねたりしてあそぶ
 - ③自由につくる
- わらをつかんで、わら束づくり。フレームに貼り付け壁をつくる。屋根にもものせる/フレームにどんぐりを隙間なく貼り付ける/屋根にダイナミックに絵を描く/はだしになってわらの上で遊ぶ/木製フレームにマジックで色を塗る/わらを切りそろえる/家の中を飾る/わらにマジックで色をぬる など、それぞれのアイデアでつくった。

●子供たちの様子

- ・わらに飛び込んであそぶ子どもたちからは、「わはは！ はだしになるときもちいいよ！」「おこめのおいがするー」といった声があがった。
- ・わらの束づくりでは、テープ・リボン・モールを使って、手首と指先をひねってギョッ！ 一人では難しいときはお友だちや先生に声をかけて、様々なシーンで1日目よりも上手に協力し合う姿があった。
- ・「ひみつのどんぐり、ひみつだよ」屋根をかぶせると隠れてしまう場所を発見。両面テープを利用して、どんぐりをペタリ、見事な行列！ お友だち数人を呼び入れて、「ひみつの共有」にワクワクしていた。
- ・まる、なみなみ、しずく形、雨のような点々…、屋根の上にさまざまな模様を気持ちよさそうに描き広げていく。このあと、屋根を床におろして、白い部分が全て埋まるほど描きこんで熱中していた。



振り返りをふまえた気づき

●保育士から

- ・大量のわらを目にするのも触れるのも今まで経験がなかった。大量のわらの中で、まずは思いっきり遊んで満足してから、ものづくりに向かっていくことができたのが、よい流れだった。
- ・自由に造形する楽しさや、ダイナミックに大きなものを作る楽しさを経験することができた。自由度の高い内容だったので、それぞれのペースで、それぞれのやりたいことを見つけて取り組むことができて、参加できない子がいなかったのもよかった。
- ・2日目には自分からやりたいことを見つける子が増えた。また、創造力やイメージが深まり、加速していた。
- ・どこかで面白いアイデアが生まれると他のグループにも連鎖し、お互いに刺激し合っている様子も見られた。